

子どもたちに 核兵器のない世界を

核兵器廃絶めざす
全教メールニュース
第18号 2009.11.6

全教千葉 青年3人をNPTニューヨーク行動へ派遣

全教千葉では、10月末の中央委員会で、来年5月のNPT再検討会議ニューヨーク行動に、青年部から代表を派遣し応援していくことを確認しました。また、船橋市では地域原水協から退職教職員の会に要請がありましたが、「若い人を行かせよう」との話になり、青年部役員に声がかかっていた。こうした支援をうけとめ、全教千葉青年部執行委員会は、こんないい機会はない、世界大会に参加して学んだことを世界の場で生かしたいと議論が盛り上がり、一人じゃなくて2人で、いや僕も行きたいと3人が名乗り出て、みんなで応援していくことになりました。

派遣費用については、本人負担もあるものの、本部、所属教組、青年部、そして退職教職員の会でカンパにとりくみます。署名とカンパ活動を両輪に、「核兵器のない世界を」の対話が職場に広がるのが楽しみです。

仮申し込みを13日まで延長 すべての構成組織から積極的に代表派遣を！

全教本部からは、磯崎・国民共同局長と井村・青年部事務局長が参加します。長野高、長崎高、埼玉、都教組からも参加の報告がとどいています。全国では、10月の仮申し込みで8百人近くが応募し、日本原水協が目標とした1000人に迫る勢いです。原水協は、飛行機とホテルを確保し、仮申し込みをもとにコースの調整をおこないます。組織で検討し代表を派遣するところは、13日までに派遣の希望だけでも原水協に出してください。全教本部へも報告を。

全労連が単産委員長連名の連名アピールを公表

5日、全労連は、加盟単産の委員長・議長の連名アピール【別紙を添付】を公表し、11月からの署名の大きな前進をめざします。アピールは、核兵器をめぐる情勢が劇的に変化していること、しかし、国連での審議では、核兵器廃絶の期限や具体的道筋について何も示されず、米・英・仏などは核兵器廃絶の交渉開始を求める決議に反対している状況があることを示し、世論と運動の重要性を指摘しています。全労連が、500万筆の署名目標を達成し、300人の労働者代表をNPT再検討会議に派遣することが、国際政治を動かす力になると訴え、学習と署名のとりくみの強化を呼びかけています。

NPT代表団に参加する3人の決意（Yさん）2年続きで広島・長崎の世界大会に、3.1ピキニデーにも参加し、世界が核兵器廃絶に盛り上がっていく様子を目の当たりにしてきました。そんな中で要請がきて、「これは行くしかない」と思いました。参加することで、私のこれからの教員人生も変わってくると思います。

（Nさん）教え子の5年生に、よく平和についての話をするのだけれど、いつも「平和って大事だよ」で終わっていました。思いを行動に移すことが大事なんだ、NPTに参加すればその思いが子どもたちにも届くかもと思って、参加を決めました。

（Sさん）オバマ大統領のプラハ演説に大きな感銘を受けたこと、グラウンドゼロを見てみたいという思いで、参加を決意しました。実際に見て感じて、伝えられるよう意識して参加したい。

全労連の「憲法・核廃絶」学習
リーフの到着は18日以降に

10/28付の要請文書で、11/9の週に組合員数を届けるとお知らせしましたが、印刷が遅れたため、直送は18日までに到着、他は19日に本部発送となります。